

2025年
4月号

薬剤部通信

見てね!



薬剤師の活動や参加イベント情報などをお伝えしていきます!

2月薬剤部ゼミ

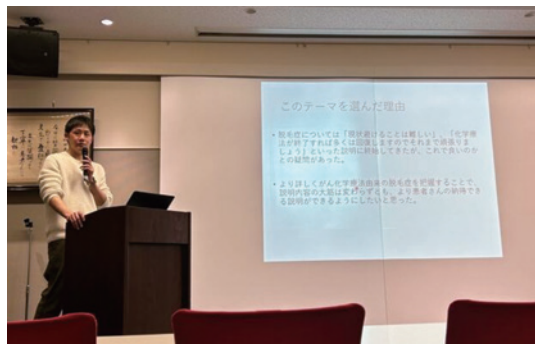


「薬物動態は好きですか。」

学生に聞くと苦手と答える人が多い印象ですが、私も苦手なので教えることができませんでした。そこで、学生や新人の指導に役立てるために、まずは分布容積、半減期、クリアランスについて調べ、発表しました。基礎的な部分ですが、この3つを学ぶだけで患者指導に活用できることも多くありました。

薬物動態は薬剤師しか詳しく学ばない分野です。一緒に薬物動態を活用し、1人でも多くの患者を笑顔にしていきたいと思います。(成田)

3月薬剤部ゼミ



「がん化学療法由来の脱毛症について」をテーマに、約2年ぶりにゼミを担当しました!

脱毛はがん化学療法による副作用の中でも頻度や苦痛度が上位であること、各部位における脱毛度合いの相違やそのメカニズム、同系統の抗悪性腫瘍剤でもレジメンにより脱毛頻度に差があること、クライオセラピーの有効性や安全性、ウィッグの選び方など、脱毛に関するエッセンスを共有できたように思います。

普段のがん化学療法業務においても脱毛に関する説明は丁寧に行ってきたつもりでしたが、改めてガイドラインやエビデンスを振り返ることで認識を改めるべきことなども見つかリ、私自身にとっても有意義でした!患者さんにしっかり還元していきます!(河原)

合格おめでとう!!



【がん指導薬剤師合格!】



自分には縁がない資格と思っていましたが、香内さんの論文のおかげで認定要件を満たすことができました。香内さんと化学療法チームの仲間に感謝です。この資格があれば竹田総合病院をがん専門薬剤師研修施設とすることができます。新人薬剤師募集の一助になれば幸いです。今後ともよろしくお願いします。(齋藤(浩) ※写真左)



【緩和薬物療法認定薬剤師合格!】



緩和薬物療法認定薬剤師の資格を取ることは学生の時から目指していましたが、日常業務を行いながら認定取得を目指すことは予想以上に大変でしたが、上司のサポートを受け、無事に認定資格を取得することができました。私も新人が認定を取るときにサポートできるように知識を増やしていきます。また、認定資格を活かせるように新たな知識を身につけ、目の前の患者の苦痛を軽減させていきます。(成田 ※写真右)



新人研修を通して、2年目の抱負

1年間の新人研修を通して多くのことを学ばせていただきました。たくさんご迷惑をおかけしたかと思いますが、研修に関わってくださった薬剤師、ファーマクルーの皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。どんなときでも丁寧なご指導をいただき、ありがとうございました。

2年目以降は精神科病棟を担当させてもらうようになりますが、精神科領域だけでなく薬剤師として広い視野を持つことを大切に今後の業務に関わっていきます。(緑川)



会津の桜



竹田総合病院 薬剤部

- ①国家試験合格に向けて学生さんに勉強のコツや意識して取り組んでいたことを教えてください。
- ②入職後1週間の様々な職種とのオリエンテーションはいかがでしたか？
- ③ECAM研修はいかがでしたか？
- ④1年目の抱負を教えてください。



● 塩川 由将 さん

①薬剤師国家試験では難しい問題を解ける必要は全くありません。全体の正答率が60%以上くらいの問題を皆んなと同じように解けるようにするだけで受かる試験です。そのためには過去問をしっかりと解けるようにすることが大切だと思うので過去問を繰り返しやるようにするのが良いかと思います。また、青本など参考書を最初から最後まで進めていくのは非効率的であり時間がいくらあっても足りませんので、このやり方はあまりお勧めできるものではありません。

②今まで学生として過ごしてきたので、コミュニケーションや接遇に関しては分からないことばかりでした。入社後すぐオリエンテーションとして上記のような事を学べるということはこれからの社会人生活にとってもとても大事なものであり、たくさんのことを学ばせていただいたと感じています。

③ECAM研修では国家試験とは違い正解がないものに対して自分のアプローチを考える研修でした。患者さんとの関わり方は患者さんの性格や治療への関心度などでも変わってきますし薬剤師それぞれでも変わってくるものです。正解がないものに対して自分の考えをまとめるというのは今までの人生の中でもほとんどしてこなかったことだと思うので苦労する場面が多かったと感じています。その一方で新たな見方や将来の自分の薬剤師像を見つけるのに繋がるととても有意義な研修でした。

④まずは業務をしっかりとできるようにすることが目標です。そのうえで薬剤師として患者さんとうまく関わっていくかや社会人としてマナーはしっかりとできているのか、そういったことを日々俯瞰的に自分を見つめられるような1年間にしたいと思います。

● 石田 優 さん

①過去問と模試の復習を繰り返していました。問題集の空白には自分が間違えた範囲のキーワードやポイント、語呂などを書き込んでいました。正答率が6割以上の問題を繰り返し行って、自分は大丈夫という自信をつけていました。また、予習→授業→復習のサイクルはかなり自分に合っていた勉強法でした。予習で分からなかったところを授業で集中力を高めて聞き、復習で実際に問題を解いてみて解けたらしばらく日を置いてもう1回解く、解けなかったら教科書に戻ってもう1回該当範囲を読み込んでから同じ問題をもう1回解くという勉強をしていました。

②社会人としての立ち居振る舞いをしっかり学ぶことができたので、非常に有意義な1週間でした。

③様々な課題に対して、同期の2人とディスカッションをしながら進めることが出来ました。ほかの考えを聞くことである程度と思う所が多くありました。

④患者さん一人一人に寄り添った医療を提供出来る薬剤師を目指して自己研鑽を重ね、一生懸命に努力していきたいと思っています。

● 三保 乙羽 さん

①まずは過去問に取り組みました。解けなかった問題を解き直し、解けるようになるまで繰り返して習得しました。また、問題自体が解けるだけでなく、その問題に付随する周辺知識まで学ぶと、効率よく勉強できるのでおすすめです。また、模擬試験の復習は時間が許す限り丁寧に 行っていました。模擬試験は少々難易度の高い問題が多いので、そのような問題をしっかり理解していると、国家試験の問題が簡単に感じて気持ちにも余裕が生まれます。

②多職種の方々とグループワークをして親交を深められました。グループワークを通し、楽しみながら社会人としてのマナーや医療人に必要な考え方などを学ぶことができ、有意義なオリエンテーションでした。

③患者の思いや希望を聞き、それをかなえてあげるのが薬剤師のやりがいのひとつだと思います。そのために、患者の思いを引き出す必要がありますが、その思いを引き出すためのスキルを学ぶことができたので大変勉強になりました。

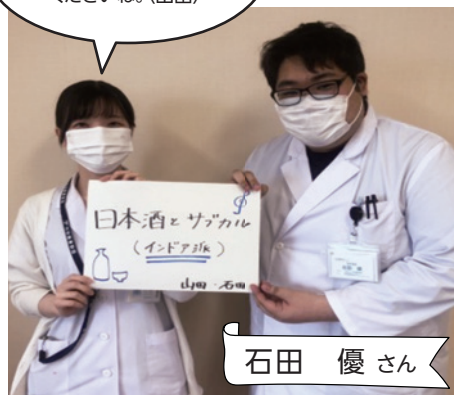
④各部署での研修を通し、業務がスムーズにできるようになるのが最初の目標です。それができるようになったら、様々な症例を経験するなかで、どんな薬剤師になりたいのか、どの領域を深く学びたいのかなど、目標を定めるための1年にしたいです。

■ メンター・メンティと各チーム名のご紹介



塩川 由将 さん

これから覚えていくことがたくさんあり、大変かとは思いますが、頑張ってください。よろしくお願いします。
〈波多野〉



石田 優 さん

一年間メンターメンティとしてよろしくお願いします。何か困ったことがあれば遠慮なく相談してくださいね。〈山田〉

メンターとしてちょっとしたことで相談してもらえようになりたいと思います。これからよろしくお願いします！〈緑川〉



三保 乙羽 さん

日本臨床腫瘍薬学会での発表



地域全体での薬薬連携には、医療情報のリアルタイム共有が重要です。福島県会津地方では、統一お薬手帳『会津お薬手帳』やICTネットワーク(キビタン健康ネット、赤べこNet)活用し、医療者間で診療情報を共有しています。さらに、医療用アプリを使用することで患者情報の収集・共有を強化し、副作用の早期管理が可能になりました。今回のシンポジウムでは、これらの取り組みを事例として紹介し、成果と課題を報告しました。(木本)

【演題名：薬剤師外来における 診察前処方(PBPM処方)支援システムの構築】

外来化学療法室の薬剤師は診察前に患者さんと面談をして、PBPM処方(医師と予め合意されたプロトコルに基づく処方)を実施していますが、そのシステムの有用性について発表してきました。医師へのアンケートでは、医師のアセスメント時間の軽減や抗がん剤の副作用対策薬の適正な使用、常用薬処方の処方入力時間の軽減につながっており、満足度も高いという結果でした。

今後も安全な薬物治療に貢献できるよう研鑽を積んでいきたいと思っています。(香内)



新PharamaCrewさん紹介

病院での勤務は私が今までに経験のしたことがない分野で特に、薬剤に関しての知識もなく、0からのスタートでした。

薬剤名も数多くありますし、間違えてはいけないというプレッシャーもありますが分からない事は先輩方に聞いて、ひとつひとつ解決してきました。

まだ職場に来て日も浅いのですが、私のできる範囲でお役に立てるように聞いた事はメモを取り、家に帰って復習したり、まとめたりして自分なりに仕事ができるようになってきました。

先輩方も初心者の方に優しく教えていただき、感謝です。

これからも患者さんのお役にたてるように日々、勉強していこうと思います。



佐藤 祥 さん



企業説明会へ参加してきました

【2月20日 昭和薬科大学の病院合同説明会に参加】

1分間アプローチタイムでの木本科長の熱弁が学生のハートにささり、当院のブースには5年生5名、4年生13名もの学生が来て熱心に質問してくれました。

会津出身の理事長が途中乱入!のハプニングもありましたが、進路・就職支援が早期から手厚く行われている大学だなと感じました。(酒井)



【東北医科薬科大学の企業説明会へ参加】

東北医科薬科大学の企業説明会へ参加しました。

ブースを訪れてくれたいずれの学生も、自身の目指す薬剤師像を持ち、真剣に就職先を考えている印象を受けました。

また、同級生・恩師・他の企業の薬剤師との交流の機会もあり、自身も充実した時間を過ごすことができました。

パンフレットや動画等で当院に興味を持ってくれる学生が増えてくれることを願っています。

〈小田〉

